



平成18年11月10日

各 位

会 社 名 エス・パイ・エル株式会社
代 表 者 名 取締役社長 松川 敏 夫
(コード番号 1919 東証大証1部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 澤 井 幹 人
(TEL. 06-6315-1131)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月19日の決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期連結中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	37,500	800	900
今回修正予想(B)	37,124	1,082	1,485
増減額(B-A)	376	282	585
増減率(%)	1.0	-	-
(ご参考) 前期実績(平成17年9月中間期)	40,275	1,225	26,656

2. 平成19年3月期中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	31,000	900	900
今回修正予想(B)	29,843	1,581	1,579
増減額(B-A)	1,157	681	679
増減率(%)	3.7	-	-
(ご参考) 前期実績(平成17年9月中間期)	33,391	1,216	26,029

3. 平成19年3月期連結通期業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	83,000	300	100
今回修正予想（B）	75,500	200	100
増減額（B - A）	7,500	500	-
増減率（％）	9.0	-	-
（ご参考） 前期実績（平成18年3月期）	82,527	1,577	32,995

4. 平成19年3月期通期業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	70,000	0	0
今回修正予想（B）	63,500	800	800
増減額（B - A）	6,500	800	800
増減率（％）	9.3	-	-
（ご参考） 前期実績（平成18年3月期）	67,413	1,936	33,107

5. 修正の理由

平成19年3月期中間期

(1) 連結

売上高は、住宅事業の戸建住宅部門の完工棟数が計画より減少したため、予想を下回る見込みであります。経常利益は、売上高の減少の影響により、予想を下回る見込みであります。当期純利益は、「投資有価証券売却益」87百万円及び「貸倒引当金戻入益」31百万円等を特別利益に計上しましたが、「固定資産除却損」164百万円、「投資有価証券評価損」26百万円、「貸倒引当金繰入」21百万円及び「減損損失」26百万円等を特別損失に計上したことにより、予想を下回る見込みであります。

(2) 個別

売上高は、請負部門の完工棟数が計画より減少したため、予想を下回る見込みであります。経常利益は、売上高の減少の影響により、予想を下回る見込みであります。当期純利益は、「投資有価証券売却益」87百万円及び「貸倒引当金戻入益」46百万円等を特別利益に計上しましたが、「固定資産除却損」28百万円、「関係会社株式評価損」26百万円、「貸倒引当金繰入」21百万円及び「減損損失」26百万円等を特別損失に計上したことにより、予想を下回る見込みであります。

平成19年3月期通期

(1) 連結

売上高は、住宅事業の戸建住宅部門の完工棟数及び分譲部門の売上高が計画より減少したため、予想を下回る見込みであります。経常利益は、売上高の減少の影響により、予想を下回る見込みであります。当期純利益は、所有資産の処分等により期初予想の100百万円を見込んでおります。

(2) 個別

売上高は、請負部門の完工棟数及び分譲部門の売上高が計画より減少したため、予想を下回る見込みであります。経常利益及び当期純利益は、売上高の減少の影響により、予想を下回る見込みであります。

以上